

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2012-171795(P2012-171795A)

【公開日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-036

【出願番号】特願2011-52165(P2011-52165)

【国際特許分類】

B 6 5 G 33/32 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 33/32

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上部にホッパーが設けられた水平スクリューコンベヤの出口部に、垂直スクリューコンベヤが両コンベヤの軸心線を交差させた状態で直交して連結され、前記垂直スクリューコンベヤのシリンダーは、軸線方向に分割された一対の部材により構成されていて、該部材の一方を水平スクリューコンベヤ側に固着し、他方を反水平コンベヤ方向に向けて回動可能に前記一方の部材に支承させた食肉移送用スクリューコンベヤであって、前記水平スクリューコンベヤの水平スクリューは螺旋状のスクリューが軸に巻き掛けられ一体的に形成されていて、該スクリューの先端部を垂直スクリュー付近に臨ませ、他端部に形成された第一フランジを駆動軸の先端に形成されて機壁に開けられた孔に外周面を緩く嵌合させた第二フランジに締結ボルトによって着脱可能に連結されており、駆動軸には第二フランジに当接して第一ベアリングが、適宜間隔を隔てて第二ベアリングが嵌め込まれ、該両ベアリングを保持する支持メタルが機体に取着された食肉移送用スクリューコンベヤ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上部にホッパーが設けられた水平スクリューコンベヤの出口部に、垂直スクリューコンベヤが両コンベヤの軸心線を交差させた状態で直交して連結され、前記垂直スクリューコンベヤのシリンダーは、軸線方向に分割された一対の部材により構成されていて、該部材の一方を水平スクリューコンベヤ側に固着し、他方を反水平コンベヤ方向に向けて回動可能に前記一方の部材に支承させた食肉移送用スクリューコンベヤであって、前記水平スクリューコンベヤの水平スクリューは螺旋状のスクリューが軸に巻き掛けられ一体的に形成されていて、該スクリューの先端部を垂直スクリュー付近に臨ませ、他端部に形成された第一フランジを駆動軸の先端に形成されて機壁に開けられた孔に外周面を緩く嵌合させた第二フランジに締結ボルトによって着脱可能に連結されており、駆動軸には第二フランジに当接して第一ベアリングが、適宜間隔を隔てて第二ベアリングが嵌め込まれ、該両ベアリングを保持する支持メタルが機体に取着された食肉移送用スクリューコンベヤ

とすることで目的を達成する。